

From Ibigawa S A B O

紀伊半島天然ダム災害から一年

～天然ダム災害を想定した防災訓練やパネル展を実施～

越美山系砂防事務所では、9月4日に天然ダム災害を想定した防災訓練を実施しました。平成23年5月に施行させた改正土砂法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）では、大規模な天然ダムなどの緊急調査は国の責務として行う事となりました。いざという時に、職員が迅速な対応ができるようにするためには日頃からの訓練が必要です。今回の訓練により得られた課題や教訓を生かせる様にしていきます。また、実際の災害発生にあたっては、地元自治体等の関係機関との連携が必要です、今後、関係機関等との合同防災訓練も実施する予定です。

天然ダムを想定した机上訓練

訓練では、「南海トラフ」沿いで巨大地震が発生し、当事務所管内でも震度6弱の揺れを観測、揖斐川町東津汲（ひがしつくみ）地先の揖斐川左岸山腹において深層崩壊が発生し揖斐川を塞ぎ止め、昨年紀伊半島で形成されたような大規模な天然ダムが発生したと想定して、机上訓練を実施しました。

天然ダムの崩壊につながる溢水の時刻や天然ダムによる水没や決壊した場合等の被害範囲について、シミュレーションを行う訓練や天然ダムが決壊に至らないように、緊急対策や発電事業者等の関係機関等と連携した応急復旧計画の立案を行い、各種建設機械や災害対策車両の手配の手順の確認等も行いました。

予測された氾濫範囲を
基に被害予測を検討



天然ダム決壊による被害
を防止する対策の検討

深層崩壊溪流レベル評価マップが
公表される

9月10日に国土交通省砂防部より、深層崩壊に関する調査の第二段階として、平成22年8月に公表した「深層崩壊推定頻度マップ」で深層崩壊の頻度が特に高いと推定される地域を中心に、深層崩壊の発生の恐れのある溪流（小流域）レベル（以下、溪流レベル）の評価を行った「深層崩壊溪流レベル評価マップ」の公表が行われました。併せて、深層崩壊の頻度が特に高いと推定される地域について、深層崩壊の跡地の分布状況を分析した「深層崩壊跡地密度マップ」も公表されました。

越美砂防管内は、今回の公表範囲には含まれていませんが、過去に何度も深層崩壊が発生していることを確認しており、過去に公表された「深層崩壊推定頻度マップ」でも深層崩壊の危険性が高い地域となっています。

公表資料の詳細は、下記URLにて確認して下さい。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000552.html

画像伝送訓練も実施

また、災害発生時に天然ダム発生箇所の情報収集や監視をするための手段として期待される、当事務所管内に整備されている情報コンセントを利用した画像伝送訓練も併せて実施しました。



8月29日に内閣府が発表した、南海トラフ沿いでの巨大地震による被害想定の詳細は、下記URLで確認して下さい。
http://www.bousai.go.jp/nankaitrough_info.html

東日本大震災や紀伊半島天然ダム
災害を忘れないために

8月26日（日）大垣市において南海トラフの巨大地震を想定した防災訓練が実施されました。越美山系砂防事務所では、木曽川上流河川事務所・岐阜国道事務所とともに、昨年発生した東日本大震災や紀伊半島における天然ダム災害に関するパネルを展示し、大規模災害時の教訓・必要な備えについて、語り継ぐ取り組みを実施しました。



パネルを熱心に見る訓練参加者

また、現在事務所1F展示コーナーで同様のパネル展を開催しています。来所の際は一度ご覧下さい。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp